

製品・サービス動向-国内

■ライフサイズ：手のひらサイズのカメラ一体型ビデオ会議システムとビデオ会議サービスの機能強化を発表

(取材：2月18日)

ライフサイズ（東京都港区、株式会社ロジクール内）は、ビデオ会議システムの新製品「LifeSize Icon 400」と「LifeSize Icon Flex」、また「LifeSize クラウド」ビデオ会議サービスの機能強化を発表した。



ライフサイズの新製品発表会

ライフサイズは、Icon シリーズ「LifeSize Icon 600」を、2013年2月に初めて発売した。実用十分な接続端子インターフェイスを提供し、選択・決定・ミュートの3つの機能操作にしばったシンプルなりモコンで、スマートフォン並みの簡単な操作感を実現しており、低価格ながら1080p60に対応したモデル。また、2014年5月には、ハイエンドのインテグレーター向けのモデル「LifeSize Icon 800」も発表している。

今回発表された Icon 400 は、1080p30/720p60に対応しつつ、小規模会議室や打ち合わせスペースに最適化されたモデル。Icon 本体と HD カメラが一体化した、手のひらサイズのコンパクトな設計が特徴となっているため、背面の接続端子は、Icon 600 に比べ必要最小限

に抑えられている。カメラは、6倍ズーム PTZ（光学3倍 x デジタル2倍）を搭載し、PCを本体に HDMI で接続することでデータ共有も可能だ。また、LifeSize デジタル MicPod、もしくは、LifeSize Phone による HD 音声にも対応している。



LifeSize Icon 400（ライフサイズ）

LifeSize Icon シリーズのビデオ会議端末は、後述の LifeSize Cloud サービスに最適化（プラグ&プレイ）されたビデオ会議システム端末として提供されている。そのため、両者を組み合わせて使用することで、プレゼンス対応ディレクトリからのアドホック会議、あるいは、仮想会議室での予定された MeetMe 会議をリモコンの選択だけで簡単に行える。



LifeSize Icon Flex（ライフサイズ）

LifeSize Icon Flex は、1080p30/720p60 対応した 6

倍ズーム PTZ（光学 3 倍 x デジタル 2 倍）カメラ、マイクスピーカ、リモコンを提供する。Icon 400 の設計を基本としてはいるが、コーデックを除いたものとなる。

Microsoft Lync、Skype、Google Hangouts、Cisco Jabber、WebEx、Citrix GoToMeetingなどをインストールした PC に接続して、高精細のカメラを使用しながら、ハンズフリーでビデオ会議/Web 会議が行えるもの。USB を使用して PC や Mac に接続するだけで、ビデオおよび音声のキャプチャと処理は、Icon Flex がすべて引き受け、画像・音声ともに非常にクリアで質の高い会議を実現する。

「Icon Flex はデスクトップ PC 会議を会議室ソリューションに簡単に換えることができる製品。通常は PC でのビデオ会議でも、会議室では Icon Flex を PC に接続することで会議室ソリューションに早変わりする。」(ライフサイズ)

一方、LifeSize クラウドは、Lifesize Icon シリーズなど国際標準に準拠したビデオ会議システムのほか、スマートフォン/タブレット、パソコン、固定/携帯電話から会議に参加できる HD ビデオ会議サービス。Google Hangouts や WebRTC などにも対応し、1 対 1 の通話のほか多地点会議や資料共有を交えた会議も行える。IBM の SoftLayer 上でワールドワイドに展開しており、2014 年 8 月に日本市場向けに提供開始した。

今回の機能強化での目玉は、Microsoft Lync との相互接続に対応したところ。ユーザは専用端末や Lync クライアント、WebRTC などのデバイスを意識することなく LifeSize クラウドでいつでもどこでもビデオ会議がシームレスに行える。

また、Outlook プラグインや Chrome 拡張機能を使用すると、Google カレンダーや Outlook から直接ビデオ会議をスケジュールしたり、参加者を会議に招待したりできる。

そのほか、14 のローカル PSTN ダイヤルイン番号を追加し、全世界 50 か国以上から電話で LifeSize クラウ

ドに接続することができる。

ライフサイズとしては、オンプレミス(LifeSize UVC)とクラウド(LifeSize クラウド)を、ユーザのニーズに応じて提供していく考えだが、その中で、クラウドの役割はビデオ会議への間口を広げるところにあると見ている。

「LifeSize クラウドのサービスはユーザからのフィードバックにより毎月のように機能強化などを行っている。最近もたとえばクラスタリングに対応したところだ。おかげさまで当初の予想を超えて順調に右肩上がりで契約数やユーザ数が増えている。」(ライフサイズ)

■ ブラザー工業：Web 会議システム「OmniJoin」、挙手機能など機能追加のほか新料金プランを発表

(2月24日)

ブラザー工業株式会社(愛知県名古屋市)は、Web 会議サービス「OmniJoin (オムニジョイン)」のアップデートを発表した。



会議室画面 (ブラザー工業)

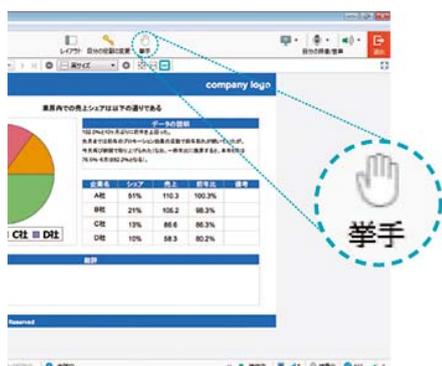
今回のアップデートでは、使いやすさを向上させるユーザインターフェイスの一新や新たな機能の追加、また料金プランの変更などがある。

セミナーや講演を Web 会議で行う際など、聴講者がマイク OFF の状態のままでも発言の意思表示を主催者

に伝えることができる「挙手機能」を追加したほか、資料共有時に、手書きによる書き込みに加えてテキスト入力ができるようになった。また、Web 会議中に書き込まれた内容は保存をすることも可能になった。



会議室の予約や編集など各種設定が行える「マイアカウントページ」(ブラザー工業)



挙手機能 (ブラザー工業)

参加端末 10 台までの会議の場合の新料金プランについて。「エコノミープラン 10」では、1 会議開催可能で月額 19,800 円 (年額 198,000 円、税抜)。「ビジネスプラン 10」では、1 会議開催可能 (共有・録画) で月額 34,800 円 (年額 348,000 円、税抜)。「ビジネスフレックスプラン 10」では、5 会議開催可能 (共有・録画・ブランドカスタマイズ) で月額 45,000 円 (年額 450,000 円、税抜)。なお、ビジネスプラン 10 とビジネスフレックスプラン 10 については、同時接続数を最大 150 端末まで拡張可能だ。

■SOBA プロジェクト：ミエルカ・クラウドで遠隔操作ができる「デスクトップ共有β版」をリリース

(2月25日)

株式会社 SOBA プロジェクト (京都市下京区) は、同社が提供するクラウド型 Web 会議「SOBA ミエルカ・クラウド」に新機能「デスクトップ共有β版」を 2 月 25 日にリリースした。

デスクトップ共有β版は、Web 会議上で参加者の PC 画面を共有し、遠隔操作を可能にする機能だ。自分の PC の状況を見せたり、マウスを使って他者の PC を操作したりすることができる。



デスクトップ共有イメージ (SOBA プロジェクト)

同社の従来のシステムで、インストールするタイプの Web 会議「SOBA mieruka(ソーバ・ミエルカ)では同機能を搭載しているが、インストール不要なクラウド型システムでの遠隔操作機能は同社初のリリースという。

一般的に Web 会議で遠隔操作が可能なデスクトップ共有機能を利用する場合、大幅な追加料金が発生したり、利用デバイスを Windows のみに限定したりしている場合が多いが、SOBA ミエルカ・クラウドでは、Windows および Mac どちらも月額基本利用料のみで利用が可能となっており、Web 会議業界では最安値で高機能を提供するとしている。

今回はβ版として Windows と Mac 対応に限定してい

る。iOS/Android 版スマートフォン等で参加した場合、PC 同士の共有・操作に対して、操作はできないが閲覧は可能となっている。

同時接続数	月額定額(税抜)	1 接続単価(税抜)
5	25,000 円	@5,000 円
10	45,000 円	@4,500 円
20	80,000 円	@4,000 円
50	180,000 円	@3,600 円

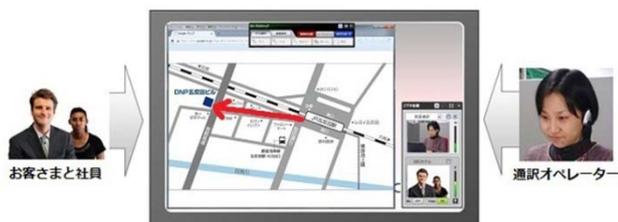
契約プラン (同時接続数) : 月額定額制・追加料金なし・利用時間無制限 (SOBA プロジェクト)

今後、同機能の対応デバイスも含めて SOBA ミエルカ・クラウドはより高度で使いやすいシステムにするため順次企業を追加し発展させる計画だ。

■大日本印刷:通訳オペレータによる外国人向け多言語案内サービスを開始

(2月25日)

大日本印刷株式会社(東京都新宿区)は、Web 会議方式による通訳オペレータによる外国人向け多言語案内サービスを2月25日に開始する。



外国人向け多言語案内サービスイメージ (大日本印刷)

多言語案内サービスは、公共施設やホテル、銀行などで、Web 会議システムを搭載したタブレット端末から遠隔地の通訳オペレータを呼出し、受付担当者と外国人をつなぎ、対面して相互に顔を見ながら会話できる情報案内サービス。

DNP オリジナルタブレット端末(スマートフォンやPCも可)から、インターネットを経由して、通訳オペレータが配置されたコールセンターを Web 会議システムでつなぐ。外国人の問い合わせに対して受付窓口担当

者がタブレット端末を操作し、通訳オペレータが画面上で両者の話を通訳しながら対面で案内する形となっている。

対応言語は、英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語。また日本語の手話にも対応している(オプション対応)。コールセンターは1日24時間、年間365日いつでも対応することができる(オプション対応)。

初期導入費用は28万円～。月額利用料は17万円～(1言語対応の場合)。コールセンター(平日9時から18時)と1拠点間のWeb会議システム、DNP オリジナルタブレット端末1台の費用を含む。なお、手話と筆談による案内サービスは別途費用見積もりとなっている。

大日本印刷は、公共施設、観光施設、金融、流通、メカショールームなどへ提供し、2020年度までに累計で20億円の売上を目指す。

■ニューロネット:スマートフォンから披露宴に参加できるクラウドサービス「Smart Wedding」を発表

(2月28日)

ニューロネット株式会社(東京都町田市)は、スマートフォンから披露宴に参加できるクラウドサービス「Smart Wedding」を4月1日から開始する。

Smart Weddingは、結婚披露宴やパーティなどに、出席したくても身体や仕事の都合あるいは遠方であることなどにより欠席せざるをえない人に、スマートフォンでライブチャットをしながら遠隔参加できるクラウドサービス。参加者は自分のスマートフォンで新郎新婦やほかの参加者と最大10拠点で直接ビデオチャットが行える。

「時間や場所を超えて大切な人と人とを結びたい、それが Smart Wedding のコンセプトだ。日本初のサービスだ。これからの結婚式が変わると考えている。」(ニューロネット)

スマートフォンに Smart Wedding のアプリをダウンロードし、ニューロネットから届く招待状から当該披露宴会場に入室すれば参加できるようになっている。自宅や屋外、海外など国内・海外を問わず参加場所を選ばない。披露宴会場の高砂用には、同社からタブレット端末を貸し出す。

ニューロネットによると、昨今の結婚式状況は以前に比べ、カジュアル化や小予算化、あるいは場合によっては式自体を行わないといった傾向があり、参加者もお友達中心のカジュアル披露宴となってきているという。

こういった流れの中、海外ウェディング、レストラン婚、自宅婚、あるいは披露宴でのサプライズイベントの演出など、新郎新婦にとってもブライダル業界にとっても、新しい披露宴スタイルサービスとして利用できるのではないかと同社では期待している。加えて、披露宴に限らず一般パーティや同窓会などでも使用できるとしている。

Smart Wedding は、最大接続数 5 拠点版の「Personal」(30,000 円)、10 拠点版の「Enterprise」(50,000 円)がある。個人で申し込む場合はどちらでも申込は可能だが、ブライダル業界関係者や同サービス販売パートナー向け取扱いは Enterprise コースとなっている。

ビジネス動向-国内

■ブイキューブとパイオニア VC：ドローンを活用した実証実験を開始

(2月16日)

株式会社ブイキューブ（東京都目黒区）とパイオニア VC 株式会社（東京都目黒区）は、ドローン（小型無人飛行機）を活用した新たなコミュニケーションスタイルの実現を目指した実証実験を、パートナー企業とともに開始する。

ブイキューブは、ドローンの商用利用に必要な不可欠な技術開発を行う Rapyuta Robotics 株式会社（東京都新

宿区）に出資を行っており（発表:1月26日）、鉄工所など高所や煙突があるプラント、設備の保守点検、橋梁やトンネルなど社会インフラの点検、市区町村における災害対策において、年内のサービス提供開始を目指し、共同でのサービス開発に現在取り組んでいる。

また、開発中のサービスを利用した実証実験を進めていくため、災害対策分野において国土交通省など官公庁での実績をもつパイオニア VC と連携し、国内に研究・活動拠点を有する法人ならびに市区町村に対して、実証実験に協力できるパートナーを募集(2月16日～25日)する。鉄鋼所やプラントの設備保守点検、橋梁やトンネルなど社会インフラ点検、市区町村の緊急災害対策といった分野での実証実験を3月5日から27日かけて実施する予定だ。

ブイキューブは、新たなビジュアルコミュニケーションの実現をめざし、段階的にドローンを活用したサービスを提供していく。

※関連記事(Rapyuta Robotics へ出資)：1月31日号

■エスクロー・エージェント・ジャパンとブイキューブ：金融機関向けプラットフォームサービスで提携

(2月23日)

株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン（東京都中央区、以下 EAJ）と株式会社ブイキューブ（東京都目黒区）は、第二地方銀行や信用組合など金融機関において、各種金融商品の非対面販売に必要な専門業務を行うプラットフォーム提供で業務提携を行った。

EAJ は、金融機関内での各種事務処理の業務受託や取引の信頼性向上に役立つシステムなどの提供を行っている。今回の業務提携では、EAJ がもつ 800 名を超える司法書士をはじめとした専門家の全国ネットワークや 20 行を超える金融機関での利用実績を活かしたエスクローサービスならびに BPO サービスと、ブイキューブが提供するクラウド型 Web 会議を組み合わせる。

昨今、金融商品が多様化・複雑化しているにも関わらず、専門知識を持つ担当者は限られている。また、一方で、個人の顧客においても、営業時間や対応店舗が限られていることから、希望する日時に金融商品の説明を受け、契約することは容易ではない。そのため、柔軟に商品説明や販売ができる効率的な体制を構築することが求められていた。

こうした地域の金融機関で高まるニーズに対して、EAJ とブイキューブは、顧客の自宅や外出先など希望する場所と日時に、司法書士をはじめとした専門家が立ち会い、EAJ の BPO サービスで各種金融商品に知見をもつスタッフと金融機関の担当者が「V-CUBE」で遠隔でつながり、金融商品の説明を受け、契約ができる仕組みを提供する。

今回の業務提携の第一弾として、住宅ローン契約の中で必要とされる、金銭消費貸借契約業務においてサービス提供を開始する。ちなみに、個人住宅の新規着工は 2014 年に年間 89 万件を超えている。

今後、拡大が検討されている不動産取引(売買・賃貸)や信託、相続、介護対策における非対面化においても、EAJ とブイキューブ両社のノウハウおよびプラットフォームを活用し、顧客に取引の合理性・安全性・利便性を高めるソリューションを提供すべく調査・研究を進めていくとしている。

導入利用動向-国内

■旭日産業：キャノンソフトの Web 会議システム「IC³」を導入、iPad を使った Web 会議でワークスタイルを変革

(2月27日)

旭日産業株式会社(東京都中央区)は、拠点間のスピーディなコミュニケーション実現のため、キャノンソフトの Web 会議システム「IC³(アイシーキューブ)」を導入

した。

旭日産業は、北海道から九州まで日本全国に 17 拠点、アジアを中心とした海外に 8 拠点を持ち、工業製品や金属加工製品の販売を中心に新規事業分野にも注力している。2014 年からの中期経営計画に基づき、拠点間のスピーディなコミュニケーションの実現が課題だった。

そこで、同社では IC³を導入。iPad 用アプリケーション「IC³ for iPad」をインストールした iPad を各拠点に配布し、ストレスのない Web 会議システムに切り替えた。2012 年に導入した Web 会議システムは音声品質に課題があったという。一方、IC³ for iPad はクリアな音声と遅延、途切れが少ない点が大きく評価された。なお、キャノンソフトは IC³のシステム構築を担い、キャノンマーケティングジャパンはシステムの提案とサポートを行った。

毎週定例の支店間での情報共有、空き時間を利用したプロジェクトの打ち合わせ、国内外拠点の社員が編集会議(社内報の制作)に参加できるなど、さまざまなシーンで Web 会議の活用が進んでいる。背景には、複数拠点でも快適に利用可能なこと、誰でも簡単に利用できるシンプルな機能と直感的な操作により、Web 会議が簡単に開催できるようになったことがある。

IC³ for iPad を導入することで、拠点間のスピーディなコミュニケーションや経営判断の迅速化を可能にした、人件費や出張費の削減、Web 会議システム運用コスト 50%削減も実現した。

キャノンマーケティングジャパンとキャノンソフトウェアは、今後、この導入事例をもとに、製造・建設・金融・サービスなどを中心に、モバイル環境でのミーティングや店舗間の情報共有など遠隔コミュニケーションのツールとして、iPad を活用した Web 会議システムを提案し、顧客のワークスタイル変革を支援していく。

>>旭日産業株式会社 <http://www.asahi-san.co.jp/>

PR

>株式会社日立ハイテクノロジーズ

<http://cnar.jp/Hitachi-HighTech3.htm>

>株式会社シード・プランニング

<http://store.seedplanning.co.jp/item/8430.html>

セミナー・展示会情報

<国内>

■BIG PAD を活用したクラウド型 Web 会議サービス
「TeleOffice」体感セミナー

日時：2月18日(水) 14:00~16:00

*2014年10月から2015年3月までの日程あり。

会場：シャープ株式会社 東京支社

主催：シャープビジネスソリューション株式会社

詳細・申込：

<http://www.sharp-sbs.co.jp/event/regular/teleoffice-b.html>

■音声品質で後悔しないための Web 会議導入・活用セミナー

日時：2月19日(木) 15:30~17:30 (受付開始：15:00)

会場：キヤノンソフトウェア本社 (東京都品川区)

主催：キヤノンソフトウェア株式会社

詳細・申込：<http://www.canon-soft.co.jp/seminar/rd.html?270>

■さわってわかる電子黒板・遠隔講義システム・タブレット端末！学習効果アップ体感セミナー ~4月からすぐに始められる！大学のICT教育トレンドと最新事例~

日時：2月19日(木) 14:00~16:00

会場：ブイキューブ本社 (東京都目黒区)

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/171>

■【実践編】オンラインセミナーを利用したアクティブラーニング体験 話題のアクティブラーニング「同期(リアルタイム：同じ時間を共有)」×「遠隔(離れた場所から参加)」での協働的な学びを体験しよう！

日時：3月5日(木) 13:30~15:00 (接続開始：13:20)

会場：オンラインセミナー

主催：株式会社ブイキューブ

共催：パイオニア VC 株式会社

詳細・申込：<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/174>

■IT 資産管理・総合経費管理セミナーのご案内

日時：3月5日(木) 14:00~17:50(受付開始：13:30~)

会場：晴海トリトンスクエア (東京都中央区)

主催：株式会社日立ハイテクソリューションズ

詳細・申込：

http://www.choruscallasia.com/management/wp-content/uploads/2015/02/seminar_20150305.pdf

※のビデオ会議・電話会議・Web 会議クラウドサービスを提供している Chorus Call Asia の講演もあり。

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

Web の方の情報もご参照ください。

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2015年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン2015年2月28日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp